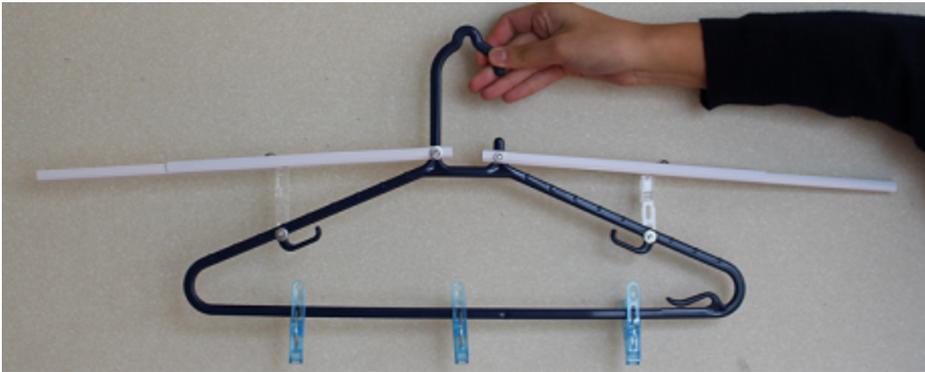


# 平成29年度 熊本県発明工夫展 「熊本県教育委員会優賞」作品



## 【1つでラクラクハンガー】2年 石本 粹

作者は、洗濯物を乾かすときに、洗濯物のサイズが大小様々あるため、普通のハンガーを使用した場合は、大きいサイズの場合、十分広げられず、ぬれた衣服が外部から乾くために、内部まで乾くのに時間がかかってしまうのではないかと考えた。

そこで、1つのハンガーだけで、洗濯物の様々なサイズに臨機応変に対応できる速く乾かせるハンガーを考案した。

この作品の特徴を以下に示す。

- (1) この「1つでラクラクハンガー」は、市販されているハンガーを身近にある素材を使って改造して作成した。まず、洗濯物の小物をつけるための洗濯ばさみをハンガーの下部に取り付けた。さらに、ハンガーの肩の部分に、幅の異なるプラスチック製の電線カバーをスライドできるように組み合わせ、それをボルト・ナットでハンガーに接合した。さらに、その間に洗濯ばさみの片方の部品をボルト・ナットで止め、電線カバーの支え棒として組み込んでいる。この部分で、支えることで、洗濯物の内側に立体的な空間を作り出す。また、大きいサイズの洗濯物には、電線カバーの部分を長くして支え棒で支えることで肩の部分の角度を大きくし、その結果、洗濯物の内側から通気性が良くなり、洗濯物の速乾性が期待される。
- (2) 機能面では、たった一つのハンガーにそのような装置を工夫することで、洗濯物の大きさや素材に配慮した乾燥のしかたが選択できると思われる。実際、大きさに合わせたハンガーを準備するのは手間が掛かり、洗濯物を干す段階での直観的な判断で、より立体的に乾燥させた方が望ましい衣類もあると思われるので、まさに、簡素ながら、非常に多機能である。